

インタラクティブ 2007 参加募集

2007年3月15日(木), 16日(金)

学術総合センター／一橋記念講堂

<http://www.interaction-ipsj.org/>

人と人工物、人工物を介した人と人とのインタラクティブをテーマに、様々な分野・出自の研究者・実務者が一堂に会することで分野間のインタラクティブを活性化させることを目的とするシンポジウム「インタラクティブ」も11回目となり新たなサイクルに入りました。

1997年にスタートしたインタラクティブはヒューマンインタフェース、グループウェアとネットワークサービス、ユビキタスコンピューティングを中心に、インタラクティブシステムの理論やデザイン、それらを実現するための要素技術やハードウェア、更にはインタラクティブアートなど多くの研究分野を巻き込みながら活性化を続け、近年では600名前後の参加者を数えるまでになりました。インタラクティブ 2007も最新の技術や情報を交換し合い、人と人がふれあう「場」を提供するべく企画しております。

インタラクティブ 2007では、厳正なる査読を経て選ばれる一般論文発表とデモを交えたインタラクティブ発表、更には萌芽的な研究を議論する場となるポスター発表が行われます。旬の研究者や境界領域の識者による招待講演によって、「インタラクティブ」の意味や実践について深く議論する機会を用意しています。

本シンポジウムにおける論文は多数の投稿から採択されており、その完成度は高いレベルにあります。それらのうちから優秀な口頭発表論文及びインタラクティブ発表論文を選定して賞を授与すると共に、質の高い発表のタイムリーな論文を後押しする企画も進めています。

最新の研究成果を体感すると共に、皆で個人の情報処理から社会との関わりまでその方向性を考え、おおいにインタラクティブを行おうではありませんか。

プログラム

一般講演の発表時間は質疑・応答含め25分です。

1日目 (3月15日)

10:00-10:15 開会式

10:15-11:30 セッション1: 会話・対話と知識

[1] 会話量子化器を用いた知識獲得支援

久保田秀和 (日本学術振興会特別研究員/京大),
齊藤 憲, 角 康之, 西田豊明 (京大)

[2] Synvie: 映像シーンの引用に基づくアノテーションシステムの構築とその評価

山本大介, 増田智樹, 大平茂輝, 長尾 確 (名古屋大)

[3] 質問応答・情報推薦機能を備えた音声による情報案内システム

翠 輝久, 河原達也, 正司哲朗, 美濃導彦 (京大)

11:30-12:00 インタラクティブセッション概要説明 (1)

12:00-13:20 (昼食)

13:20-15:35 インタラクティブセッション・

ポスターセッション (1)

15:35-15:50 (休憩)

15:50-16:40 セッション2: 五感メディア

[4] 遠隔存在感メディアとしてのアンドロイド・ロボットの可能性

坂本大介 (1, 2), 神田崇行 (2),

小野哲雄 (1, 2), 石黒 浩 (3, 2), 萩田紀博 (2)

(1) はこだて未来大 (2) ATR (3) 阪大

[5] 没入型三次元風覚ディスプレイの開発と評価

小坂崇之 (金沢工業大), 宮下芳明 (北陸先端大),

服部進実 (金沢工業大)

16:40-16:50 (休憩)

16:50-18:00 招待講演

「言語と歌の起源と進化」

岡ノ谷一夫氏 (理化学研究所脳科学総合研究センター)

18:10-19:30 懇親会・表彰

2日目 (3月16日)

9:30-10:20 セッション3: メディア知覚

[6] 歌唱音声モーフィングに基づく声質と歌い直し転写の知覚的検討

河原英紀, 生駒太一, 森勢将雅, 高橋 徹 (和歌山大),
豊田健一 ((元)関西学院大), 片寄晴弘 (関西学院大)

[7] 薄型触覚呈示デバイスによる高次知覚を利用した触覚情報呈示

水上陽介, 澤田秀之 (香川大)

10:20-10:35 (休憩)

10:35-11:50 セッション4: GUI

[8] ポインティング動作を用いたスクロール技術 DuH の提案

高嶋和毅 (阪大),
スリラム サブラマニアン (サスカチュワン大),

築谷喬之, 北村喜文, 岸野文郎 (阪大)

[9] マウスによる仮想折り紙の対話的操作のための計算モデルとインタフェース

古田陽介, 三谷 純, 福井幸男 (筑波大)

[10] HYPERREAL 三次元形状デザイン支援システム

山本景子 (1), 久田 理 (1), 金谷一朗 (1, 2), 佐藤宏介 (1)

(1) 阪大 (2) 科学技術振興機構さきがけ

11:50-12:20 インタラクティブセッション概要説明 (2)

12:20-13:40 (昼食)

13:40-15:55 インタラクティブセッション・

ポスターセッション (2)

15:55-16:10 (休憩)

16:10-17:25 セッション5: 行動計測・記録

[11] When becomes Where: WiFi セルフロギングによる継続的位置履歴記録とその応用

暦本純一 (ソニーCSL), 味八木 崇 (東大)

[12] 加速度センサを用いた行動計測に基づく運動動作解析手法

多田昌裕, 大村 廉, 岡田昌也, 納谷 太,

野間春生, 鳥山朋二, 小暮 潔 (ATR)

[13] 体験の記録と再利用のための個人用知的移動体

小酒井一稔 (NTT データ), 長尾 確 (名古屋大)

17:25-17:40 閉会式・表彰

招待講演

講演者：岡ノ谷一夫（おかのやかずお）氏（理化学研究所脳科学総合研究センター）

タイトル：『言語と歌の起源と進化』

80年代末から小鳥の歌や聴覚の理解について先進的な研究を展開されています。講演では、ジュウシマツの歌の文法理解から個体の中での歌の複雑さの発達、種としての進化の神経科学的な理解、オスとメスのインタラクションや社会的な協力といった内容について御講演頂きます。「インタラクション 2007」の聴衆の皆様にとって大変興味深いお話が頂けると思いますので、奮ってご参加ください。

参加費

参加費（論文集代を含む）			
		事前登録 (2007年2月28日迄)	当日 (現金持参)
一般	会員（情報処理学会・協賛学会）	16,000円	20,000円
	非会員	24,000円	28,000円
学生 (社会人学生を 除く)	会員（情報処理学会）	4,000円	10,000円
	会員（協賛学会）・非会員	6,000円	10,000円

論文集のみ	
5,000円	

- ・参加費には論文集代が含まれます。2日間通して聴講できます。
- ・会社などから給与などを得ている学生（いわゆる社会人学生）の方は、学生での申し込みはできません。
- ・懇親会費は無料です。
- ・今回、情報処理学会の学生会員は特別ディスカウントとしました。この機会に是非、情報処理学会への加入をご検討ください。

組織委員会

大会委員長：河野 恭之（奈良先端科学技術大学院大学）

プログラム委員長：角 康之（京都大学）／プログラム副委員長：井上 智雄（筑波大学）

主催



社団法人

情報処理学会

ヒューマンインタフェース研究会 (HI)

グループウェアとネットワークサービス研究会 (GN)

ユビキタスコンピューティングシステム研究会 (UBI)

協賛

電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ、人工知能学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本認知科学会、日本ソフトウェア科学会 インタラクティブシステムとソフトウェア研究会、日本社会心理学会、ヒューマンインタフェース学会、日本ロボット学会、情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会、情報処理学会 音楽情報科学研究会、情報処理学会 音声言語情報処理研究会、情報処理学会 グラフィックスとCAD研究会

大会スポンサー

Microsoft®
Research

Google™

問い合わせ先

contact2007@interaction-ipsj.org